

# WFF Letter



発行／ウーマンズフォーラム魚事務局

**秋号**

**東日本大震災から、まもなく半年です。**

**みなさまとともに、三陸・常磐を応援してまいりました。**

**ウーマンズフォーラム魚はこれからも、**

**海に育まれてきた暮らしの文化を守ってまいります。**

**海と魚の大切さを、こどもたちに伝えてゆきます。**



▲女川はガレキ撤去と道路かさ上げ中



▲避難所(写真)から仮設住宅へ



▲女川でクジラ料理の炊き出し(5月)



▲いわき市久ノ浜は手つかずのまま



▲いわきのかあさんに義援金を届ける



▲手作りジオラマに喜ぶ女川の皆さん



▲石巻は感謝の言葉があちこちに



▲女川に仮設の花屋がオープン(7月)



▲海彦の写真だよ、と出島のかあさん

# 東日本大震災への取り組み

2011年3月11日(金) 14:46 「東日本大震災」が発生

## ◎3月11日(金)～

### 「被災地の関係者の安否確認」－ ホームページに掲載

当日夜より、ただちに宮城県女川町、石巻市、岩手県宮古市、大槌町、福島県いわき市のWFF会員、関係者と連絡をとりあいました。連絡がとれた人、安否が確認できた人のお名前をホームページに掲載し、関係者にお知らせしました。

## ◎3月25日(金)～

### 「三陸・常磐の浜のかあさんを応援する義援金口座」を開設。支援物資の送付

「浜のかあさんが元気になれば、まわりの家族も元気になる。浜のかあさんを応援しよう！」という趣旨で義援金口座を開設し、ウーマンズフォーラム魚、NPO海のくに・日本の共同で義援金活動をスタートしました。8月29日現在、集まった義援金は、2,730,331円です。

4月5日より女川、いわき、宮古、大槌の浜のかあさんにお渡しし、総額2,520,000円を贈呈しました。石巻のかあさんには、支援物資として「有川うどん2700食分」(長崎県新上五島町・十八銀行提供)をお届けしました。またWFF事務局に届けられる支援物資は宮城県、岩手県のWFF会員を通じて被災者や施設へお届けしています。



▲いわきのかあさん



▲女川町復興協議会の高橋会長



▲女川のかあさん



▲WFFから送り出す衣類等

## ◎5月21日(土)、22日(日)

### 宮城県・女川町へ「クジラ汁・竜田揚げ」の炊き出し

女川町の浜のかあさんから、「自分たちは被災し、全国から支援を受けている。けれども、自分たち自身で町のみなを励ましたい、協力してほしい」という要望を受け、ウーマンズフォーラム魚事務局とNPO海のくに・日本の有志で「クジラ汁と竜田揚げの炊き出し隊」を組織して、10名で現地へ駆けつけ活動してまいりました。

鯨肉70キロと皮15キロをご提供くださったのは、東京のスクナー株式会社(樋口信行社長)。同社から樋口信高専務以下5名が女川へ応援に来てくださいました。



▲女川第一小学校で(5月21日)



▲震災後、初めてのクジラだ！



▲揚げたてのクジラ竜田揚げ



▲女川のかあさんと現地の応援団、東京から駆けつけた炊き出し隊



▲避難所を訪ねる



▲勤労青少年センターで(5月22日)



▲12社の報道機関が取材

©朝日新聞社 2011年

44923号(日刊) ▲

2011年(平成23年)

5月22日

日曜日

朝日新聞



クジラ料理で  
女川を元気に  
かつて捕鯨が盛んだった  
女川町で21日、地元的女性  
が鯨肉を使った炊き出しを  
した。写真。各400人分  
用意した竜田揚げや鯨汁は  
30分でなくなった。  
「郷土の食材で皆を励ま  
したい」と、地元で水産業  
に関わっていた女性たちが

企画。漁村と都会を結ぶ活  
動を続ける「ウーマンズフ  
ォーラム魚」(東京都)を  
通じ、都内の水産会社から  
鯨肉の提供を受けた。  
親族3人を亡くした須田  
順子さん(68)は「わいわい  
話せて楽しかった」。自宅  
が流された木村和子さん  
(76)は「避難先では腰や肩  
が痛かったのに調理してい  
ると忘れた。昔の活気を思  
い出した」と話した。

## 東日本大震災への取り組み

5月23日(月)～

町づくりのための「ジオラマづくりプロジェクト」(協力・藍設計室)

～大人たちの町づくりのために。こどもたちの未来のために～

津波により壊滅的な被害を受けた三陸の沿岸部。町を復興するためには、町の人々が故郷を俯瞰し、みんなで話し合うことが大切です。

5月21日～22日、女川への炊き出し隊に同行した藍設計室の鯨井勇代表は「被災地のためにジオラマづくりを！」と考え、白石代表に相談がありました。白石代表は支援することを決めて、鯨井さんとともにジオラマをつくり、女川町復興連絡協議会へ贈呈する準備を進めてました。

6月25日、できあがったジオラマを持って女川を訪ね、高橋正典会長はじめ復興連絡協議会のメンバーにお披露目をしたところ、大変よろこばれました。

7月には女川町の遠藤教育長ともお話しし、9月から鯨井先生が女川第二小学校の6年生を対象にジオラマを使った総合学習、「いま、自分たちにできること」を3カ月にわたって指導することになりました。そして、11月下旬には、女川のこどもたちからの町づくり提案を安住町長に提出する予定です。こどもたちがどんな提案をしてくれるのか。乞う、ご期待です！



▲説明する鯨井勇先生



▲ジオラマを喜ぶ復興連絡協議会



▲遠藤教育長と話し合う

### ◎6月、東京都・板橋区も動き出す！

～10年間の交流をいまこそ力にしよう～ ＊同封のパンフレットをご覧ください。

ウーマンズフォーラム魚は、都市と漁村の交流活動の具体的に進めようと東京都板橋区と宮城県女川町の浜を1996年から9年間にわたって結んでまいりました。2006年から少し休んでいましたが、今回の大震災後、ウーマンズフォーラム魚が2001年に女川町へ派遣した子ども記者たち(現・大学生)から24万円の義援金がウーマンズフォーラム魚に届きました。これには、女川の皆さんは大変、感激されました。

そして6月、板橋の大人たちも動き出しました。WFFのジオラマプロジェクトに同行した松島道昌板橋区議が女川の安住町長と女川町復興連絡協議会メンバーに挨拶し、女川魚市場に板橋のこどもたちが折った千羽鶴を贈呈しました。7月には、板橋で集めたこどもの夏服を女川へ運び、7月末には女川町復興支援ネットワーク(鈴木静雄代表)を組織して、エステティックの先生、沖縄料理の食材とともに女川を訪問。ひとときでもリラックスをしてもらおうという試みでした。他にも、板橋の経済人による「女川の仕事づくり交流」や、板橋で女川を支援するイベントが企画されており、ウーマンズフォーラム魚も協力しています。

☆10月15日(土)には、板橋区立志村小学校の「タイサンボク祭り」で女川のサンマ焼き大会を予定しています。

☆10月15日(土)～16日(日)には、「板橋区民祭り」に女川の水産関係者を招き、女川ブースで女川の加工品をアピールする予定です。

◎3月11日以来、被災地を支援したいという個人、団体、自治体、企業の方たちから、ウーマンズフォーラム魚と白石代表にたくさんのご相談をいただいています。支援物資の送り先や、被災地を訪ねたい人の紹介、8月には石巻商業高校の野球部員を北海道知内町が合宿に招いて応援するつなぎ役を務めるなど、さまざまな交流が具体化するよう努めています。

はま  
＜東日本大震災・浜のかあさん義援金口座を開設しています＞

ご協力いただき、ありがとうございました。(2011.3/25～8/29)

◎お呼びかけ前にお寄せ頂いた皆様  
(送金順・敬称略)

濱村徳士  
(株)フルタイムシステム(原周平副社長)

◎義援金をお寄せいただいた皆様  
(送金順・敬称略)

白石ユリ子  
真壁初子  
佐藤安紀子  
マキノセ・ミエコ  
沼田貞明  
山田和彦  
英義道  
高橋俊晴  
英正道  
今井智之  
小早川敏彦  
猿渡敏男  
シモカワ・エツコ  
英順子  
内田俊介  
土淵正太郎  
縣正彦  
渡部五月  
吉田文一  
岡田真貴子  
小林元  
弦間明  
富永真  
加藤由美  
小松忠夫  
板垣哲史  
大野直巳  
英綾子  
喜納稔  
飯高嘉和(2回)  
江口邦子  
大井光宣  
中西滋治  
松井邦夫

伊藤誠  
唐木進  
星野滋  
星野京子  
菊川瑛子  
宮原多嘉子  
山口一代  
クロダ・ケイコ  
江上幹幸  
小島曠太郎  
堀威彦  
樋口栄治  
田口成子  
畝村健一  
坂田ひろ  
大谷康之  
上石康彦  
石井信彦  
岩渕和夫  
黒川康三  
水谷幹夫  
玉井正美  
アサダ・タマキ  
水野節子  
松澤純子  
本間千枝子  
佐藤欣也  
中村信  
岸秀雄  
市崎美千子  
馬場千恵  
宮川卓磨  
梶田レイジ  
松江辰子  
富永孝雄  
野村祥子  
小久保茂昭  
榎忠志  
本橋喜代  
岡田洋  
細谷雅昭  
栗村嘉恵子  
倉本博司  
宮嶋政彦

北川和子  
吉川みつえ  
宇田川雪子  
柳瀬丈子  
内藤峰夫  
飯野建郎  
ワカオ・カズコ  
篠利幸  
岡本守正  
小田康夫  
近藤久男  
野崎由男  
谷川尚哉  
伊岳商事(株)  
(細川一夫会長)  
庄司京子  
松村高男  
小池千恵子(5回)  
服部礼次郎  
河野明彦  
イトウ・キヨコ  
江藤久仁子  
小森谷慶子  
ヨシダ・キョウコ  
佐々木賢秀  
シバタ・ヨウコ  
木元弘子  
濱容子  
田原富子  
野口壽子  
辛嶋典子  
長尾和昌  
盛田良子  
宇津木妙子  
百田喜代  
カワカミ・マリコ  
新上五島町  
(井上俊昭町長)  
新宅義治  
金井政枝  
下関連合婦人会  
(林登季子会長)

板橋区立板橋第九小学校第53回  
卒業生有志  
(代表・小川弘平)  
タカギ・ミドリ  
姥山登  
本間桃世  
吉田和子  
岩渕啓一  
高世仁(3回)  
長門大津くじら食文化を継承する会(光永豊山、岡村昌幸)  
江上栄子  
(株)無手無冠  
小川裕通  
富田光衛  
横田謙  
山本京子  
飯島わかよ  
笹川隆昭  
小笹俊一  
北海道上磯郡漁協  
女性部(成澤鈴子)  
井坂光明  
秋葉純子  
高橋博水  
加藤宗子  
佐藤勝也  
橋田忠明  
矢野真知子  
イマイズミ・ヨウジ  
イマイズミ・アツコ  
西井朋子  
宮下美恵  
田中秋枝  
大西正子  
山村恭子  
小野寺正周  
中須勇雄  
ボーイスカウト東京連盟城北地区  
板橋第5団

ハヤカワ・マサミ  
イシザキ・ノブヨシ  
松浦政子  
(株)ABRF  
(本間桃世社長)  
中嶋和子(2回)  
武田三花  
板橋区立板橋第九小学校在校生一同  
板橋区立小学校PTA連合会OB会・  
教育委員会

合計金額

**2,730,331円**

(8月29日現在)

◎お渡し先の  
浜のかあさん

宮城県女川町  
福島県いわき市  
岩手県宮古市  
岩手県大槌町

☆ひきつづき義援金  
口座を開設しております。  
浜のかあさんが一日も早く元の暮らしに戻り、浜を守ってこれまでように元気に活躍されることを願い、  
応援してまいります。

## こどもプロジェクト **秋** 今年も「八丈島の授業」を行います！

**9月10日(土)新宿区立市谷小学校 4年生115人対象**

**9月16日(金)台東区立平成小学校 5年生27人対象**

**9月17日(土)江戸川区立第六葛西小学校 4・5年生250人対象**

☆トビウオとムロアジがテーマの授業です。講師は八丈島の浜のかあさんです。

☆東京都とご一緒に授業の3年目。今年は前期・後期で10校、開催します。

【2010年度の写真から】



▲トビウオのヒミツはここ



▲ムロアジのさばきに挑戦



▲トビウオの羽を見せる

## こどもプロジェクト **秋** 「海彦クラブ」と「東京湾授業」も開催

「海彦クラブ2011」は、静岡の海と東京の小学校を結びます。

「東京湾プロジェクト」は、東京湾と東京都内のこどもを結びます。

そして、「こどもフォーラム」は2012年1月に開催予定です。

**テーマは、レイチェル・カーソン！**

☆2012年は、レイチェル・カーソンが「沈黙の春」を書いて50年目になります。

海とともに暮らしていく私たちが、いま、何を考えるべきか、どんな行動を

すべきかをこどもたちとともに考え、世の中へ発信していきたいと考えています。

【2010年度の写真から】



▲漁師さんの東京湾授業



▲海彦クラブで海へ！



▲こどもフォーラムで発表

# クジラ いよいよ「クジラ絵本」が教科書に掲載！

## 8月4日(木)東京都日野市給食会で、白石ユリ子代表が講演

9:00～ 栄養士の先生方にクジラ料理を指導しました。(クジラ汁と竜田揚げ)

\* 鯨肉と皮は、スクーナー株式会社にご協賛いただきました。

13:30～ 日野市給食会の先生方、栄養士の皆さんに白石代表が講演

☆2011年秋から、小学5年生の国語の教科書(学校図書印刷・後期)に、

白石代表が書いた絵本「クジラから世界が見える」が掲載されます。

日野市はこの教科書を採択しているので、クジラ熱が高まりそうです



▲クジラの絵本



▲クジラ料理指導



▲白石代表の講演



▲初めて知ったと校長先生たち

## 新プロジェクト うみな海無し県・埼玉が動きだす！

ウーマンズフォーラム魚はこれまで「東京から日本を変える！」

という意気込みで活動してきましたが、新たな動きがスタート。

☆活動18年目、海無し県の埼玉から発信しよう！と有志が動き出しました。

8月10日(水)、さいたま新都心で、白石ユリ子代表が講演しました。

埼玉と浜を結ぼう！と北海道・知内町<sup>しりうちょう</sup>の大野町長にもおこしいただきました。



▲講演する白石ユリ子代表



▲埼玉NBC会長の平沼大二郎氏



▲知内の大野町長と、NBCのこもだ氏

【 情報クリップ 】

**9月3日(土) 4日(日) 9:30~**

**シンポジウム**

「東京湾の環境と魚たち、今・昔」

小泉武夫先生も講演されます！(3日・午前)

2日間にわたり、研究者や漁師さんなど18人の講師が東京湾の歴史、文化、環境、環境保全への道筋についてリレートークを行います。

両日とも朝9時半から夕方5時まで(昼は各自)講演、討論がつづきます。

◎参加費:1000円(2日間有効)

◎資料代:1000円

◎会 場 :東京海洋大学 楽水会館 (品川)

主催:NPO海の森づくり推進協会

共催:ウーマンズフォーラム魚、他

申し込みはTEL.090-4914-2345(藤野)

HP <http://www.kaichurinn.com>

**9月10日(土) 19:00~**

**ヴァイオリンとピアノ/デュオ**

「ノルウェーからの便り」

ノルウェーの人々に祈りを捧げ、演奏します。

WFFとご縁が深いノルウェー。2人の偉大な作曲家、シンディングとグリーグ。2人の音楽をとおしてテロに襲われたノルウェーの人々に祈りを捧げます。ヴァイオリン演奏はウィーンから帰国した岩渕さやかさん(WFF会員)。親友の新進ピアニスト蔡孟慈さんが台湾からかけつけます。

◎参加費:2500円

◎会 場 :大泉学園 ゆめりあホール

(西武池袋線・大泉学園駅下車・北口駅前)

申し込みはTEL.03-3546-1291(WFF)

FAX.03-3546-1164

[http://sayakaiwabuchi.com/schedule/2011\\_09.pdf](http://sayakaiwabuchi.com/schedule/2011_09.pdf)

**9月18日(日) 11:00~**

**健康魚で料理にチャレンジ**

「イワシの料理をつくろう！」

講師は田口成子先生です。

イワシやサバ、サンマなどの青魚には、体によい脂がたっぷり含まれています。旬の魚を使った魚料理をNHK「きょうの料理」でおなじみの田口先生からしっかり教えていただきます。

◎参加費:1000円(材料代) こどもは無料。

◎持ち物:エプロン、筆記用具

◎会 場 :中央区女性センター「ブーケ21」

主催:ウーマンズフォーラム魚(WFF)

後援:社団法人いわし食用化協会

協力:NPO海のくに・日本

申し込みはTEL.03-3546-1291(WFF)

FAX.03-3546-1164

**9月24日(土) 13:00~**

**海洋教育フォーラム**

「フロが語る海・船・魚の魅力」

白石ユリ子WFF代表も講演します！

白石代表、さかなクン、海洋地球環境船「みらい」元船長・赤嶺正治氏、名古屋港水族館の元職員、四国ドック元社長ら6人の話者が海・船・魚への思いや仕事としての広がりについて語ります。若い世代へ海の魅力を耳で学び、心で感じてもらうフォーラムです。

◎参加費:学生、児童と保護者は無料。

一般は500円

◎会 場 :東京海洋大学 越中島キャンパス

越中島会館

主催:公益社団法人日本船舶海洋工学会

申し込みはFAX.03-5452-6657

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/~dkita/mecc/forum.html>

《お申し込み、お問い合わせは下記まで》

海の幸に感謝する会

**ウーマンズフォーラム魚(WFF)事務局**

東京都中央区銀座 3-12-15 銀座細谷ビル 〒104-0061

TEL. 03-3546-1291 FAX. 03-3546-1164

E-mail [gyo@WFF.gr.jp](mailto:gyo@WFF.gr.jp) <http://www.WFF.gr.jp>

WFFレター No. 58

2011年8月30日

編集:佐藤安紀子

撮影:佐藤勝也、大久保翔